

豊田市立飯野小学校4年生

#★! ◎? エコトークセッション

2017年1月20日(金)

飯野小学校4年生60名は
自然と私たちが大きくつながっていることを知り、
飯野の自然を守るために、何ができるのかを学ぶことができました。

1

学び(座学)と 感じる(体験)

座学で、エコの知識を学び、
体験で、実際に見て、
触れて、感じることで、
より理解が深まりました。



2

シンパシー ワークショップ

カードゲームで、
川の生き物の
気持ちになって
自然について感じ、考えました。



3

エコアクション

毎日の暮らしのなかで、
自分たちにも
「エコ」ができることが
わかりました。



■市民講師

高山 博好(NPO法人びすた〜り)

宮田 賢輔(Bio Garden With)

■アイシン化工

柚木原 淳一

倉田 直輝

吉田 優太

加藤 和久

林 日出夫

那須 勝敏

平田 麻友美

■教育コーディネーター

白上 昌子(NPO法人アスケネット)

エコ宣言

身近なエコ

続けるエコで

飯野の自然を受け継ごう!

1

学び（座学） と 感じる（体験）

大切な地球と未来を 守るために、わたしたちができること

森や川の生き物たちを守るために、 わたしたちができること

生き物にとっても大切な川なんだ



座学 **体験** 2016年5月27日(金)
飯野川の生き物観察

今日ぼくたちは、川の調査を行いました。まず川の流れの速さや水質など川のことを調べました。その後、みんな川に入って生き物をつかまえ調べたりしました。とくにエビや魚をエコたんがいろいろおしえてくれたので種類がわかりました。



川の生き物は草むらや石の下にかくれていることがわかった。

トノサマガエルをつかまえて、めずらしいと言われてもものすごくうれしかったです。にげるとき、足がすごいきおいでとびあがってびっくりしました。



6月17日(金) クリーンセンター



土の中の虫がいるから たくさんの動物がいるんだね。



市民講師
高山 博好さん(エコたん)
(NPO法人びすた〜り)

座学 **体験** 2016年6月14日(火)
土の中の生き物観察

かいだん坂の土をすくってきて、土の中にすむ生き物を観察しました。カニムシは、ふつうに見たら、てんてんだったけど、けんびきょうで見たら、本当のカニみたいでした。ちっちゃな虫でも、いなくなったら、森や木がなくなるということがわかってびっくりしました。



ダニは土の宝石といっていてダニを見つけられたのでよかったです。

ミミズだと思ったけどけんびきょうで見るとジムカデだということがわかってうれしかった。



2

シンパシー ワークショップ

2016年6月24日(金)

「川の生き物」や「人間」になってみて、 どんな気持ちになったかな?

「川の生き物」「人間」に変身して、その動物が食べている「食べ物」を取っていくカードゲームをしました。「人間」と「動物」ではちがうルールで進みます。「人間」は「動物」よりたくさんカードを取れます。「人間」が「昔の生活」から「今の生活」になると、「人間」は好き勝手に川にあるカードを取っていけます。さらに「ブラックカード」を「食べ物カード」のなかに置いていくことができ、このカードを引いた動物は死んでしまいます。どうすればいいのかな?



市民講師

宮田 賢輔さん(なまちゃん)
(Bio Garden With)



動物によって食べられる(取ることができる)カードが限られます。



人間は自然や動物に対して、いためつけることもできれば、逆に守っていくこともできるってことを学びました。



生き物がいなくなると、生きていけなくなる。自分たちは生き物を食べて生きているのだから、生き物はとても大切な存在だと思いました。



自分の心と行動が悪かったりすると、生き物が死んでしまったりする。私たちは人間だから、それをなくそうとすれば、できるはず。



わたしは最初ブラックカードは物が悪いと思っていたけど、実際に勉強したら、物が悪いだけじゃなく、生き物を大切にしない人や生き物に対して悪いことをしている人だとわかった。生き物の気持ちがよくわかりました。自然を守ろうと思います。



生き物のすみかや緑をなくしたり、川をよごしたりしているのは自分たち人間だと知って、自分ができることはやってみようと思った。

先生からのメッセージ

◆校長 上野 泰志先生

「アイシン環境学習プログラム」のサポートで、地域の環境について学習できたことは、4年生のみなさんにとって大きな財産です。体験や見学から課題を見つけ、追究し、その結果を発信することができました。みなさんなら地域、さらには地球の環境を真剣に考えられる人になってくれると信じています。

◇三輪 知江美先生(4年1組)

飯野には、まだまだ素敵な自然がいっぱいあります。でも、この自然も、何もしなければ、どんどんなくなっていくと思います。総合の学習を通して感じ取ったことが、これからの飯野の自然を考えるきっかけになるといいです。

◇夢田 貴博先生(4年2組)

総合の授業を通して、飯野にすんでいる生き物や飯野の自然に対する興味や関心が高くなりました。また、節電をするなどのエコ活動と環境を守ることが頭の中でつながってきているように思えます。環境のプロまであと一歩です。

学んだことをおうちの人や 地域の人たちに発表しました!!



11月6日(日)

藤岡地区ふれあいフェスタ



11月20日(日)

ACフェスタ



11月12日(土)

学芸会「このままでいいの?川物語」



3


エコアクション


2016年7月5日(火)


アイシン化工さんの工場見学に行きました。

会社がどんなエコをしているのが、アイシン化工さんの工場見学に行きました。かんきょうを守るための目標をたて、みんなでエコ活動を行っていることがわかりました。部品をつくる時にゴミをできるだけ出さない工夫や、水の浄化など、会社が行っているエコの取り組みについてたくさん学ぶことができました。



 作り方を变えただけで、ごみが75%もへらせたと思って、エコ活動をしているんだなと思いました。

 アイシン化工では、水をたくさん使っているけど、つかった水をきれいにして再利用したり、川にもどしたりして水をなるべく使わないようにしているんだなと思った。

 ファンがエアコンについていて、空気が全体にいくようになっていたので、エコでかんきょうにもいいと思った。

私たちも、毎日の生活で「エコ」ってできるんだ!

クラスで「エコ」工場をつくりました。この工場の生産物は、クラスみんなの「エコアクション」です。一人ひとりが、がんばってエコアクションをします。新しいエコアクションを見つけたら、クラスの「気づ木」に新しい葉っぱをはります。新しい「エコ」は、「気づ木」の葉っぱとなって、クラスの「エコの森」に生いしげります。




- 空き箱も小物入れにして再利用
- お風呂の残り湯は洗たくに使う
- 電気ストーブやこたつはこまめに消す
- 裏紙を使ってメモ帳を作ったよ
- 出かけるときは公共のバスを使う
- お買い物にはマイバッグを持って行く
- 冷蔵庫をすぐに閉める
- 小さくなった服は弟が着ます
- ものを洗うときは水を流しっぱなしにしない

だれもいない部屋の電気を消すなど、みんなが節電に心がければ、温暖化をおくらせることができますと思います。

見ないときはテレビを消すとか、シャンプーや石けんを使いすぎないようにすることは手軽にできるエコだから、続けたいと思います。

最初はエコチェックでできなかったことがあったけど、ずっと続けているうちにだんだん〇が増えてきたから、エコ活動ができてきたなあと感じました。